

はにい

環境を構成する

平成24年10月15日

「ねえ みてみて！ わたし鉄棒でこんなことができるよ」
「わたしは、こんな急なところ 登れるよ」
「ねえ この匂いかいで、この実いい匂いするよ」
園庭を歩くと、私に向かって、あちらこちらの園児たちから声がかかってきます。



園に入ってまず目に飛び込むのは、カラフルな園の壁。そして、園庭の坂を利用した滑り台やのぼり棒、木登りのできる樹木、山桃の木、砂場の不思議な形をした椅子？などなど。

亀井園長先生は、「幼稚園では、環境に触発されて、自分で判断し遊びをつくる。子どもが自分の世界を創ることが大切なのです。」と話してくださいました。

まさに、子どもたちが遊びたくなる・挑戦したくなるしかけが園にはいっぱいあるのです。

園長先生が太鼓を叩き始めました。軽快なリズムが園庭に響きわたります。すると、集まってきた子どもたちも置いてある太鼓を叩き始め、自然にリズムが重なりあっていきます。叩くのも自由、遊びながら聴いているのも自由、それぞれのスタイルで全ての子どもたちが遊びに参加しています。

「わたしたちは、積み木でおうちごっこをしているの」
「ここは、船の中 料理をつくっているの」



ステンドグラスのような窓、木の柔らかさを感じる積み木、環境から導かれた自由な発想から世界が広がり、また次の世界が広がっていく。



子どもたちがこの環境でどう育つのか。先生方のアイデアや工夫が宝箱のように散りばめられ、子どもたちはずっと目を輝やかさせながら時間を過ごしていました。

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』とは、
学校や園が元気になるように…
先生の仕事を受けて
学校に携わる大人たちがしていることを受けて
そして、もちろん子どもたちの育ちを受けて
そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp